

第一回「石川台中学校 学校改築懇談会」を開催しました

大田区では、区立小中学校の約半数が築40年以上経過した校舎棟を有しており、計画的な学校改築が課題となっています。石川台中学校は、令和4年度に改築着手校として選定され、令和8年度頃からの着工を目指して改築事業を進めています。今年度「基本構想・基本計画」の策定にあたり、新しい学校をどんな学校としていきたいか、関係者の意見を広く伺うことを目的として「石川台中学校 学校改築懇談会」を設置しました。委員の皆様から様々なご意見をいただきながら、新しい学校づくりを進めるとともに、この開催報告を通じて生徒・保護者・先生方・地域の皆様へ広くお知らせしてまいります。



↑ 第一回石川台中学校 学校改築懇談会の様子

実施日時：令和5年6月1日（木）
18時30分から19時30分
場 所：石川台中学校 視聴覚室

次第

- ①開会挨拶（教育施設担当課長）
- ②学校改築懇談会の発足について
- ③自己紹介
- ④学校施設の更新について
- ⑤区内の公共施設について
- ⑥石川台中学校の概要について
- ⑦基本構想・基本計画策定及び学校改築懇談会スケジュールについて
- ⑧アンケートの実施概要について
- ⑨質疑応答
- ⑩次回日程
- ⑪閉会の挨拶（学校長）

学校改築懇談会の発足について

- 【目的】：新しい学校のあり方や機能について多くの方から意見を募り、地域とともにある学校づくりを推進するため。
- 【構成】：校長及び副校長、PTA代表、地域代表、大田区教育委員会、改築支援事業者ほか

学校施設の更新について

・大田区では、高度経済成長期の人口増加にあわせて学校や公共施設等の整備を行ってきました。

学校は、児童・生徒が急増した昭和30年代後半から40年代に整備されたものが多く、約6割が旧耐震基準での建築となり、老朽化が進行しています。

・令和元年（2019年）に策定した「おおた教育ビジョン」を基に「豊かな人間性をはぐくみ、未来を創る力を育てる」ことをテーマとした教育施策を推進しています。

学校施設の目指すべき姿

①安全・安心な施設環境の確保

（適切な維持管理、セキュリティ強化、バリアフリー化）

②時代のニーズに合わせた教育環境の向上

（ICT・少人数教育への対応、特別支援教育の充実、環境負荷の低減、健康等への配慮）

③地域拠点としての一面を持つ学校施設

（避難所としての機能強化、地域との連携・協働、地域コミュニティづくりへの貢献）

区内の公共施設について

・公共施設全体のうち、学校教育系施設の面積割合は**50.1%**

・築40年以上経過した施設は全体の**53%**

公共施設の適正化に向けて

（「大田区公共施設等総合管理計画」より抜粋）

目標：効果的・効率的な施設マネジメントによる区民サービスの維持・向上の実現



↑ 出展「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告別添（文部科学省）

学校改築懇談会スケジュール（予定）

第1回	令和5年6月1日
第2回	令和5年8月上旬
第3回	令和5年9月下旬
第4回	令和5年11月上旬
第5回	令和5年12月中旬

↓ 出展「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告概要版（文部科学省）



・アンケートの実施概要について

多くの皆様からご意見を募集するため、6月中旬から8月にかけて**生徒・教職員・保護者・地域（学区）**の皆様を対象としたアンケートを実施しました。集計結果をコンセプト・計画づくりに生かします。

↓ 生徒用アンケートフォーム例

「大田区立石川台中学校改築事業」に関するアンケートのお願い

生まれ変わる学校の計画にあたり、新しい校舎のコンセプトを検討しています。
また、石川台中学校が培ってきた国語教育の推進をはじめとし、各教科の学習効果を上げるための学校図書館機能や、ICT活用による教育環境の充実を力を入れたいと考えています。
つきましては、生徒の皆様のご意見を参考とさせていただきたく、以下のアンケートへのご協力をお願いいたします。

質問1 昼休みをよく過ごしている場所はどこですか？また、何をしていますか？
あてはまるもの3つを選んでください。

- 自分の教室で自習（予習・復習・宿題）をしている
- 自分の教室で読書をしている
- 自分の教室でおしゃべりしている
- 図書室で自習（予習・復習・宿題）をしている
- 図書室で読書をしている
- 校庭で運動・スポーツをしている
- 校庭の池のそばでおしゃべりしている
- 教室前の廊下でおしゃべりしている
- 昇降口前でおしゃべりしている

今の校舎で気に入っている場所、直してほしい場所は？

廊下で気軽におしゃべりができるスペースがほしい

昼休みの過ごし方は？

静かに自習に集中できる場所がほしい

地域と学校の連携を深めるには？

石中フェスやボランティアの継続
多様な生徒たちを受け入れられる設計
にしてほしい

引き継いでほしい伝統は？

小規模校ならではの縦のつながり、
仲のよさを大事にしてほしい

・主な質疑応答、ご意見

Q：体育館を建て替える理由は、耐震性や構造上の問題があるからか。

A：必要な教室数の整備やバリアフリー法を適用させることから、校庭が狭くなることや防災の視点を含め、体育館を含めた改築も検討をしている。

Q：体育館を学校防災活動拠点としてどのように活用すべきか、防災倉庫との動線、文科省の最新の指針を含めて検討してほしい。

A：用途地域の関係から高い建物が建てられない中で、水害時の避難所機能を持たせることができるか検討する。

Q：アンケートを地域向けに行う際、webで行うのであれば区外に居住している卒業生の声も集められるのでは。

A：学区内の全てを対象にする予定だが、ご意見を受けて学校HPへの掲載も検討する。

参考スケジュール（進捗により変更する可能性があります）

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度以降
	基本構想 基本計画	基本設計・実施設計		改築工事	

ご不明な点やご意見については、下記担当までご連絡ください。

問合せ先：大田区教育委員会事務局 教育総務課 施設担当 TEL 03-5744-1399 mail: t-kyouiku@city.ota.tokyo.jp